

岳北地域高校の魅力づくり研究協議会 第3回飯山高校部会 会議録概要

- 1 開催日時 令和3年1月15日(金) 午前10時00分～11時00分
- 2 場 所 飯山市役所4階 第2委員会室
- 3 出席者
部会長 飯山市長 足立 正則
飯山市教育長 長瀬 哲
野沢温泉村教育長 岩上 芳宗
飯山高校同窓会長 宮本 衡司
飯水中学校長会長 山田 晃
飯水PTA連合会長 吉越 伸吾
事務局 教育部長 常田 新司
子ども育成課長 岩崎 敏
学校教育係 佐藤 優季子

4 会議の経過及び発言

1 開 会

子ども育成課長)

おはようございます。定刻となりましたので、只今から岳北地域高校の魅力づくり研究協議会 第3回目となります飯山高校部会をはじめさせていただきます。なお、本日副部会長の富井村長様、オブザーバーの飯山高校の滝澤校長先生、県教委の上原様が欠席というご連絡をいただいております。

まず始めに、足立部会長よりご挨拶をお願いします。

2 部会長あいさつ

部会長)

大変ご苦勞様でございます。第3回の飯山高校部会になる訳でございますが、長野県内でもコロナ感染が拡大している中、今日はお集まりいただき、御礼申し上げます。前回までにそれぞれ課題等出していただきまして、その後、それに対しての取り組み方等のご意見を頂戴しておる訳でございますが、今日は出されたご意見につきまして、それぞれ事務局で取りまとめをしましたので、それについて検討いただき、自由にいろいろな意見を出していただければと思います。

全体の流れからしますと、今後2月の中旬頃には県の方へ意見書を策定する原案を全体会議で作っていきたいというふうに思う訳でございます。予定としましたら、一番最後のところに今後の進め方がある訳でございますが、1月下旬に第3回目の全体会を開催して、今日はその前の段階になる訳でございます。11月から1月中旬に必要な回数ということである訳でございますが、今日ご意見いろいろ賜りまして、ある程度まとめれば、そのご意見を合わせまして次の全体会へ持っていければと思います。なかなかコロナの関係ですとか、これから特にスキーの大会や学校も非常に忙しい時期に入りますので、なかなかもう1回は難しいかなとも思いますので、今日は自由に出していただいて、その中で事務局の方で精査して取りまとめを行ければと思いますのでよろしくお願ひします。コロナ感染も拡大していますので、あまり長時間にならないように進めさせていただきます。

子ども育成課長)

それでは協議事項に入らせていただきます。協議事項の進行につきましては部会長の進行でお願いいたします。

3 協議事項

(1) 飯山高校課題に対する支援策について

部会長)

それでは、早速協議事項に入ります。飯山高校課題に対する支援策等ということでございますがそれぞれ皆さんからご意見を賜りましたので、それについてご報告させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

教育部長)

事務局から説明

部会長)

それぞれ委員さんの方からご提案頂きましたものについて、ジャンル別にまとめたのですが、この関係で補足とか新しいこと等ご意見ありましたらお願いします。

今は出た課題を箇条書きにまとめてあるので、もう少し全体の課題をスッキリさせなければいけないような気もしていますが、どうでしょう。

飯山市教育長)

以前、長野県飯山高等学校の3つの方針というものが出されているのですが、非常にどこの普通高校に当てはまるような感じで、現実的に現在の飯山高校が3つの方針を具体的にどこまで飯山高校独自の計画というものを作り上げているか、できたら飯山高校の校長先生に現在こういうビジョンでやっていますということをお聞きできれば、また我々が提示しているのが学校とマッチングしているかが分かると思うのですが、3つの方針だけではなかなか今後の現状というものがどういうふうに進めていくか理解できない。それが残念だなと思います。

部会長)

3つの方針とはどんなものですか。

飯山市教育長)

生徒育成方針、教育課程編成実施方針、生徒募集方針と3つに分かれています。これが実際どういうふうに新学習指導要領の実施の時に反映されてるか。これは、県の方で作りましたということで作ったので、県下の全ての高校のをインターネットで確認しましたが、なかなか具体的なことは書いていない。もう少し具体的に分かればと思います。

部会長)

これは校長先生から具体的に説明をしてもらおうということですね。

飯山市教育長)

そうですね。

部会長)

岩上先生の方でかなりまとまったご意見ご提案をいただいておりますが。

野沢温泉村教育長)

私はこの会議に臨むにあたって、事務局からいただいた資料でPR不足とかカリキュラム、学科編成、地域連携に従って作ったが、PR不足についてはホームページを見るとかなり詳しくそれぞれの学校の特色とか出ていると思うが、子ども達や地域住民はホームページを見るということがほとんどない。飯山高校の方針やいろいろ細かなことをできるだけ紙ベースにして学校で子ども達の指導に使うとか、地域へ回覧で回すとか、何らかの形でホームページに載っている内容、あるいは、飯高ジャーナルは子どもの姿や、どんな学びをしているか分からないというが、具体的にカラーで書かれており分かりやすい。野沢は全戸に回覧で回しているが、子ども達がどのような学びをしているか分からないというが、出していただいているのをきちっと見ていますと取り組んでいただいていることがよく分かる。役場の若い職員に聞くとSNSを活用するのがいいのではないかと、若い人の意見はね。それには使用許可のようなものが必要なのですかね。そんなことを言っていました。

カリキュラムについてもそれぞれの科のカリキュラムが出来上がっていると思うが、提案の中には新しい特色にしたカリキュラム作りというのがあるけれども、今飯山高校で行っている各科のカリキュラムを大きく変更していくというのは膨大な作業が伴うということだよ。私達が入っても新しいカリキュラムの中身を作り上げていく高校教育に対する素地が無いのだよね。結局、高校の先生や校長先生、教頭先生で新しい科の設置や新しいカリキュラムを考えるとすれば、それにかける時間は今授業をやりながら、新しい学科を設けてカリキュラムを考えることは現場の先生方の力じゃ難しいと思う。かなり高度な知識を持った人、県レベルのところでやっていかないと、飯山高校をより魅力的にということで、かつて探究科に所属した野沢温泉の子ども達に聞いてみますと、自分は探究科に入ったが探究科で3年間勉強しても普通科の子と変わりが無いというように、そこに居ながらあまり探究科の特色に意識が無かった。在籍している生徒自身も一流大学を目指してそういう科に居るのだからしっかり勉強しなければという思いがぶつかったようなことを言っておりましたけれども、私は飯山高校の探究科はもっとレベルの高い授業をして一流大学を目指すというようなことを色濃く出してもいいのではないかと思う。そこにもう1つが普通科で一般の大学を目指すという形で、ただお聞きすると探究科も普通科もスポーツ科も数学や英語の先生は同じ先生が授業にあたるということなので、その先生も探究科の授業をやるという意識と探究科のカリキュラムと、あるいは普通科の生徒を相手に授業をする、スポーツ科の生徒を相手に授業をする時の意識が、同じ先生だと非常に難しいと思う。だから探究科で子ども達の力を伸ばすためには、探究科だけに専念する先生の配置をし、普通科とスポーツ科の授業をする先生と別個にしていかなければならない部分もあると思う。海外の大学を目指すコースも検討して特色を出すことについては、岳北地域で海外を目指す科を設置するだけの環境があるかどうかということですね。軽井沢なんかは、私立のインターナショナルスクールもできて、地盤も観光の外国人も多いという環境的なものもあるので、海外の大学を目指す科を設けて、そこに向かって特色をだすという周囲の環境が今一かなという気がします。募集しても子ども達が集まってくるかというのがあります。

いずれにしても高校の先生達もご努力をお願いしないといけないけども、それをバックアップする意味で市町村教委の管轄している義務教育学校でレベルを上げて、飯山高校で小中学校の欠落した部分を補いながら授業をするというのでは大変なので、その辺を小中学校の学校現場で先生方が飯山高校との連携で、できるだけとりこぼした部分が無いよう送り込まなければいけない。そんな意味では、数年前、野沢温泉も飯山高校から算数、数学の実態調査に来られたり、英語の意識調査に来られました。高校側もそれなりに中学校のレベル状況を把握して、数学を中心にどこが欠落しているかを分かるような実態テストをやってくださいしていました。なかなか、他の地域では見られない、飯山高校が中学校の生徒の数学の実態調査をして、それに基づきながら高校、あるいは中学校ではこういうところが欠落して飯山高校へ来ている、野沢温泉の子ども達はここここが欠落していますよ、もう少し中学校ではこうなって送り込んでほしいと願ってそういうことをされたと思うのですが、非常に努力をしてくださっている。ぜひまた続けていただきたい。野沢温泉は英語の一貫教育で幼稚園から取り入れているが、飯山高校から中学校にずっと1人派遣してくださっていて、週1回高校の先生の授業を受けれる

体制があるので、そのことも英語科も努力してくださっているのですが、今の科のままでも結果がいい方向に行けばと思います。スポーツ科については私がそこに県内唯一の科ということで書いておきましたけれども、スポーツをやりながら、そこに専念しながら勉強していきたい子ども達の受け皿としてはこしかないのではないかと思いますので、学力とスポーツを並行しながら、スポーツを目指したい子ども達の受け皿として残しておく必要があるのではないかと思います。以上私の雑感です。

飯山市教育長)

ちょっといいですか。山田校長先生、津南中等高等学校の横にいますので、飯山高校と津南中等高等学校との違いが相当分かると思うのですが、先生はその辺どういうふうに捉えていますか。

飯水中学校長会長)

津南中等は前にも話題に上っていましたが、やはり国公立大学の進学に関して、中学・高校の6年間で取り組んでおまして実績も挙げておられます。新潟県内の進学実績で言うと確か3位以内という報道がされているということで、国公立を目指すということでは成果が出ているのかなと思います。あと、1学年の募集が80名ということで少数精鋭で、確か少ない人数なんですけど、ここ近年はずっと定員に満たない状況ですが、2クラスでとりくんでいるということです。

飯山高校同窓会長)

改めて飯山高校を振り返ってみると、北・南・照岡という高校が二次統合を経て、最終的に1校になった訳ですが、当時は3校を1校になんてかなり反対もあり、せめて2校くらいだと、県教委に対していろいろやってきた経過もある中で、一番はやっぱりそれぞれの高校の特色が生かされていけばいいなと思ったのですが、現実に見ると言葉は悪いが、ごったまぜにされちゃったかなという気もあります。今岩上先生がおっしゃったが、探究科なら探究科の方を明らかに、その道のエキスパートになって将来こういう仕事につきたい、普通科と探究科を区別する訳じゃないけど、普通科は将来的な知識を身に付ける、スポーツ科はスポーツで将来に身を立っていききたいと等いろいろなコースがあって確かにいいが、最終的にこの学校はどのような特色があるのか、探究・普通・スポーツ科としていろいろ選択肢がある学校なのだけど、学校としても色というか方向性というか、進むべき道が分からなくなってしまっているのかなと思う気がします。これは傍から見た話で学校の先生や生徒にしてみればそんなことありません。ちゃんと特色を持ってやっていますと意義もあるかと思いますが、この学校は一体どういう色合いを持った学校なのかと最近ぼやけてきた気がします。少し抽象的な感想で申し訳ないですが。

飯水 PTA 連合会長)

教育長先生も2人いらして大変恐縮な質問をさせていただくのですが、今の高校の特徴というところで、中学から続いていくという考えの中で、子ども達が目指す部分をまさに探究していくような糸口だったり、スポーツに専念する糸口を見つけてあげるのが高校の役目なのか、自分の子どもを見ていて思いますが、学力は学校が補うべきものなのか、親がお金をつぎ込んで塾というものでフォローしていくべきものなのか非常に悩んでいるというのが現状です。高校の進学先を選ぶ時に高校の特徴という意味で言うとあまり学力を上げるところに焦点を絞ってしまうと、正直この辺りでも通学に支障がない訳ですから、城北中・城南中のトップは長野高校へ行く目指している子もいますし、家の子ども達に聞いてみましても、飛び抜けて点数のいい子は飯山高校を見ていないという話も聞きます。そういう中では、あまり学力に絞ってしまうと高校の特徴としては消えてしまうのかなと懸念しているところはあります。たまたま、自分の姪っ子が今年長野高校と須坂高校に入りまして、彼女たちから聞いてみて自分達が足りないなと思っていることは何かと。高校生活は楽しいいいが、受験勉強の土台らしいです。長野高校に行ったのはその上を見て、そこでの学力だったというのが1番かなと言っていました。あと、今日は野沢の村長さんがいらっしゃらないのですが、以前、長野高校で駅前ゴミについて考えたり、

いろいろ新聞報道されていたのが、実は家の姪っ子でして、なぜそれをやったのか聞いてみたら、普通に高校へ行くのだけれども、もう少し社会とのつながりが欠けているとのことで、他の職業高校は社会とのつながりが密接に感じるようなところがあるのかなと思いました。姪っ子はゴミのことや紙面についてアピールするような場面があったので、興味があってやってみたと書いていました。社会とのつながりは高校へ行くと大事だなと思っているところがあって、スポーツ科が減との記述もありましたので、これをやられてしまうと飯山高校の特徴が死んでしまうのかなという気はしました。あと、探究科ですので学力の話はさて置きというようなことで、置いていただくのであれば、先生方が科目に拘らないで得意分野を教えるというように、部活ではないですがそんなふうにやっていただけると特徴が出るのかなと思います。

後は、飯山高校ですごく学力が付いたり、海外志向な子どもを送り出した時に、東京へ行きっぱなしにしているのか、海外へ行きっぱなしにしちゃっているのかというふうに考えた時に、途中は1回東京や海外へ行くかもしれないが、地元へ帰ってそれを還元してもらいたいということの窓口としては、例えば飯山市役所で夏休みに飯山高校の生徒をアルバイトで雇ってみるか、少し地元へ目を向けるようなことと外へ向けるようなことを両輪でやれますよということを中心にキュラムに入れたり、協力していければ、高校生が感じる社会とのつながりというのが少し出し出せるのではないかと思います。

部会長)

他にそれぞれでどうでしょう。何かありますか。

飯山市教育長)

私が一番思っているのは、例えば同じ高校へ行って部活をやるにしても、スポーツ科の方が早くから部活に行っていて、探究科や普通科から行きたいと思っている生徒はいけないうえです。そういう差を設けた高校の部活動というものがいいのかどうかということが原点です。少なくとも同じ条件で切磋琢磨するのが高校のクラブだと思うのです。本当に差が付くようなクラブだとすれば私学で強いところへ行って徹底的にやった方がいいと思います。だから、少なくともこの飯山地域の子がスポーツ科にどのくらいいるかという、非常に少ない訳です。ということは僕の頭にあるのは、飯山高校は少なくとも地域の学校だと、県立高校だけ地域のための学校にしなければいけないということがすごくある。だから、スポーツ科で野球部が甲子園へ行ったけれども、あれが全部普通科の生徒で行ったとしたら、ものすごいことだと思う。ところがそうではない部分があるから僕は高校のクラブというのは同じスタートラインでやらなくちゃ、良くないのではないかと思います。

それが一つ、もう一つは飯山高校のこの地域での役割というものは、この地域の小学生が少なくとも飯山高校へ行ったらその先に希望が持てるような学校になっているかどうかということです。例えば進学に関して言えば、飯山高校の探究科へ行き、しっかり勉強すれば相当難しいところでも行ける、確かに全員が大学進学を目指している訳ではないけど、いろいろな人と付き合っただけで力を付けるということは就職するにしても、専門学校へ行くにしても絶対不利ではないと思う。不足はないと思う。ところが今、あまりにも探究科、普通科、スポーツ科とはっきり分けてしまってやっていくのはいいのかなというのがものすごくある。もっと全体を底上げして、全体がレベルアップしていくようなそういう意識でやっていかないとなかなか学校が一つになっていかないのではないかとこの素朴な疑問もあります。だから、どこの教室へ行っても黒板へ向かう姿勢がみんな同じ姿勢になっている学校でないとまずいと思う。あそこはもう勉強はしないで運動さえやっていたらいいのだという意識がある教員がいたとすると、そういう学科の子は本来自分が持っているはずの力も出せないで早い時期から限定されたその枠の中で生きていくというのは、それでいいのかなという素朴な疑問があります。それは過去の経験で、子どもを徹底的に鍛えれば伸びる力は持っていると思う。飯山高校だってもっと鍛えてやればもっと伸びるはずだと思う。だから少なくとも中学生の上位が飯山高校へ行かないで長野へ行ってしまうのは飯山高校へ期待できないからだと思う。だから期待できるような部分というのをかつての飯山北みたいなああい雰囲気というのをもう少し作っていかないと、これから10年後20年後を考えた時に飯山高校が、何も特徴が無いような地域高校になってしまう。特に小学生の中で付属中や長聖中に今までにない感じで今年はお出で出て行っています。多分山田先生も小学校から中学校へ来るはずの生徒が、津南中等へ行ったりして何かを感じていると思います。そういう

現象が飯山にももう来てしまっている。だから飯山高校を何とか良くしたいなと思っています。

野沢温泉村教育長)

長瀬先生の熱い思いは分かるのだけれど、そういう方向に持っていくとしたら、野沢温泉で幼保小中一貫教育やっているでしょ、その時に出たのが、飯山で中高一貫教育をスタートされたら野沢の子はみんな野沢温泉中学へ行かないで飯山の方へ行ってしまう、中学から飯山へ行きたいとなってしまう。それは津南中等の件もあったからだと思いますけど、野沢で小中一貫教育の拠点には保護者から小中で学力を付けてもらって、一貫教育というと学力向上ということが強い訳で、野沢では学力向上を前面に出すと先生方が非常に大変になるので、それは日々の授業の中でやってもらいながらも特色のある教育活動の中で英語とスキーをやっている。現実的に長野へ出て行ってしまったり小さいころから佐久へ行ったりしないようにするためには、津南のような中高一貫校があれば、国公立のトップを目指す学校づくりになっていきますよね。そうすると、そこを目指す子ども達の層はいいのだけれど、小中学校の現状を見れば、そうでない層の子達もいるので、その子達の受け皿もいるので、飯山高校が中高一貫校をスタートさせたとしたら、そこへ行く子は各市町村のトップクラスの何十人かで、そこへ入れなかった子の受け皿がまた課題になってくると思う。全ての子をそこで受け入れられるのではないので。できるだけ精鋭でやるというのであれば、定員数も少なくなるだろうし、徹底的に鍛えるような形で中高一貫、公立高校だけれどもそんなシステムを飯山でスタートさせると野沢からも行きますよ。津南の方は遠いから動かないだけであって、佐久長聖も小学校から行く子がいる訳ですから。

私は現実的な点からいけば、今の飯山高校の探究科の子ども達の意識も地域の人達の意識も、長野までは出て行けなかったけれども、長野に追い付け、追い越せて大学を目指したい子ども達が入る、そのレベルの子達が入ってくるという意識でいますから、そこを強化していただければと思います。

小中学校で積み残した部分がある子達も同じ教科書を使って学習する時に、同じ先生が教えている訳ですから、探究科の時には何か副教材なりを用意して国公立を目指すための厳しい授業に意識を変えられるか、自分だったら普通科の英語もやっている、探究科の英語もやっている、スポーツ科の英語もやっている中で、内容を変えるのは厳しい現実があると思う。だいたい同じような授業になると思うので、県にもお願いして、探究科の先生達を授業だけに専念できるように確保するのは大変厳しいと思いますけど、長野へ行く子達を引き留めるような学校にしていくにはそれなりの体制を整えなくてはいけない。昔から、飯山北高の時代からトップクラスは長野へ出たんだよね。私が中学生の頃もそうだけれどもね。でも私は小中学校の義務の方は、高校のことを論じた時に高校の先生たちの気持ち、高校の先生が必至でやってくれるのであればいいが、この場に高校の先生もいませんし、どこまで支え切れるか、返って高校の先生達は先生で俺らは俺らで一生懸命やっているけど等思っていたり、地域で支えようとしても、飯山高校の先生方と気持ちの上で一体感が出て行かないと、いくらここで論じても学校の方とどうして行けばいいのか、この会も継続していくということなので、継続していく意味をね。メンバーも役職が変われば変わるが、それ以外は変わらない訳ですよ。だから、2・3回やればそれぞれの思いを語ってるから、来年も継続して行ってというのは、この会の目的がね。高校の先生も交じって、現場の先生と討論するような会であればいいと思います。いろいろな思いを持ちながら参加しています、すみません。

部会長)

はい、いろいろご意見をいただいたのですが、今回の高校統合は3回目ですよ。最初の時は3校を統合するという話になって、それはだめだとなって、その時は100人くらいの委員会を作ったんだよね。丁度その時、私は事務局を担当していたんだけど、生徒数が減るから外から人を呼ぼうということで、それで特色ある学科を導入しようということで、当時は体育科というのかスキー専科を飯山南高校につくったんですよ。今のスポーツ科ですが、あれはある程度成功していると思う。いわゆる県の当初の目論見は、全国でトップクラスのスキーの学校つくろうということで、今度インターハイもあるが、だいたい男子は必ず全国で1位でしょ。それはある意味非常に成功した事例じゃないかと思っています。体育科の生徒は、普通科の生徒と違って非常に鍛えられている部分があるが、卒業式に行くとそれが分かる。ですから、スキーは飯山高校にとって大事な一つの特徴じゃないかと思います。あと、いろいろご意見を伺いましたが、今高校教育の中で一つ、従来とは違って新しい入試とかでも探究力が要請されてきている。

ただ、探究力というのが、ただ大学とかの探究力、大学と同じでただ探究しているのではなく次のステップが無いとダメなので、探究力が次の大学の進学につながっていくようなものにならないと、父兄はそっぽ向いてしまうと思います。いくら高校の時に研究して探究力があっても、次に進まなければね。

前、長瀬教育長の方から資料を頂戴したのですが、そういうので成功している高校があって、京都の公立高校の堀川高校だよ。資料はみなさんのところにありますが、当時公立高校だけど、言わば第2級の高校だったのだけれども、探究科ができて、京都府が非常に力を入れたのですよね。やっぱり色々見せてもらうと、まず指導体制を徹底したらいいです。東京については最近日比谷とか公立高校が復活しているが、それはどうしてかという、優秀な先生方を東京都は人材豊富ですから集中させたというのですよね。京都はなかなかそれができないというので、指導体制については先生方を育成したというふうに書いてありました。私は飯山高校はこの地域にとっていい学校になってもらうためにポイントは、探究科の在り方が大きなキーポイントとなると思う。去年でいうと大学進学は、成果を出している。東大に1人入ったりと成果は出ている。そういう成果を見せないと父兄は都市部の方へ行った方がいいんじゃないかという話になるので、そういうところにもリンクしないと意味ないと思う。堀川高校の場合は1・2年生はとにかく探究力を付けることを徹底して、先生だけではできないから、大学生の力を借りて生徒に興味を持ったものについて徹底的にやるという力を叩き込み、3年生になったら徹底して受験勉強をやると書いてあったが、それによって先程長瀬教育長がおっしゃったように、生徒を鍛えることによって意識を鍛えなければいけないし、勉強する方法も鍛えなければいけない。それによって高校生、中学生は伸びるので、その指導体制だよ。これはもう、指導体制に触れざるを得ないと思うのだが、ただ長野県下では探究科は飯山高校と大町でしたっけ、あまりないですよ。松本もあるのかな。だから探究科として、コロナの状況が無ければ、堀川高校とかへ行って話を聞くということが大事だと思う。公立高校ですからね。京大がトップで100人くらい入るようだ。公立高校でもそういうモデル的事例があるということですから、そういうのを徹底して学ばなければいけないと思う。そこが上手く成功すれば、普通科でも探究科方式をとっちゃいけないということがある訳ないので、そういうものを普通科の生徒にも普及させていくという感じで引っ張り上げていくというところが、おそらく飯山高校のこれからの改革になる。

その点で探究科の在り方、一般の人は探究科とはなんだという受け止めかたなので、それは探究力を高めて、大学進学を自分の目標とするところに行ける生徒を育てることだとしっかりPRすることがとても大事だと思う。こうなるためには県の全面的な方向と支援に力を入れてもらうことが不可欠なので、そういうことをやり探究科については今の時代のニーズに合致しているし、なおかつ自分の目標とする大学に行けるというような位置づけをしっかりとしていく必要があると思います。探究力を付けていくというのは時代のトレンドなので、単なる受験勉強だけというのは、大学自身も採用しなくなってくると思う。今、推薦やAO入試は探究力のある生徒、それからもちろん学力のある生徒を率先して入学できるようにしているので、そういう方向で探究科・普通科を引っ張っていくことがポイントになると思う。そうした特徴があれば、みんないいじゃないかと、都市部へ行かなくてもこの地域で頑張ればまた新しい力が付くというようなアプローチじゃないかという感じがしている。ただ、いくらここで論議しても県が力を入れて本気になってくれないとダメな話なので、そういうことを訴えていくことが大事だと思う。課題を見つけて、それについてしっかり取り組むという意欲を持つ人材というのは本当に必要ですよ。それは社会に出ても必要なので、そういう形での取り組みを、先程長瀬先生からもありましたが校長先生から今の方針をどんなふうに展開しているのか聞くというようなことも含めてやっていくことです。

今日は11時までということになっておりますので、そんな形ですが、どういうふうにやっていくか、1回まとめてお送りさせていただいて、再度できるかどうかだね。

飯山市教育長)

最後に1ついいですか。飯山高校の5~6年前を見てみると、先生方が夜8時、9時まで残って生徒を徹底的にやってくれたんです。そういう夕方、夜8時、9時まで教えるということについて、そういう熱のある先生がいた時の子どもは幸せだと思います。公立の場合先生が入れ替わって、この学校を何とかしようという熱が継続していくというのは非常に難しい部分があると思う。

飯水中学校長会長)

今おっしゃっていただいたところだとポイントは、親身になって時間を度外視して一人一人を伸ばそうとくださる先生方が当時はたくさんいらっしゃった。先程から話題になっている長野に行くことが本当に良いのかなと自分では思っていて、地元で居て熱意のある先生方に指導いただいた方が、よほど子どものためにはいいというふうに当時感じていました。

飯山市教育長)

それをずっと続けていくということは市長も先程おっしゃっていたが難しいです。手を突っ込んでやってくれと言っていいのか悪いのか非常に難しい。

飯水 PTA 連合会長)

今、スポーツ科はスキーで成果が出ているとお話があったので、私の高校の同い年で、今スポーツ科で教員をやっている先生がいますが、彼は飯山北高でスキーもやっていたし、一緒にやっていた中では一番学力が高い人間でした。今娘さんもたまたま同じ種目をやっていて成果が出ているので、そういう意味ではいい教員がいるのかなと思います。たまたま体育科なので彼に聞くと、俺はあまり行くところが無いからと言っていましたが、ある程度、OBや地元で成果の出ている先生を呼んでくれと言ってもいいのかなというようなことは思いました。こういう例もあるので、お願いできるのではないかと思います。

部会長)

それでは、校長先生の方から現状等、今日出たお話も含めてお聞きしたいと思います。日程もありますので、事務局の方で調整しまして、うまく取ればもう1回飯山高校部会をやらせていただいてと思います。そんなことでよろしいですか。

部会長)

大変ありがとうございました。限られた時間の中で中身のある話が上がってきたと思います。今日の整理については事務局で精査して1回送らせていただきますので、次回についても事務局で段取りしたいと思いますのでよろしくお願い致します。大変ありがとうございました。

子ども育成課長)

ありがとうございました。今部会長から話ありましたが、日程調整させていただきましてご連絡をさせていただきたいと思います。また、来週22日には農林高校の第4回の部会もありますので、農林高校部会の事務局とも整合させていただいて、今後の全体会の進め方等もお示しさせていただければと思っております。以上です。本日はお疲れさまでした。